

08-04 2)異幅道路 (1面) の設定

機能説明

道路境界線の両端で幅員が異なる場合に、道路斜線を1面道路として扱う場合の領域設定を行います。

実際の道路線は、予め補助線等で編集しておく便利です。

ここで設定された領域は任意領域として保存されます。

生成される測定ポイントは、「与条件設定 / 境界線条件 / 道路高さ」に依存します。

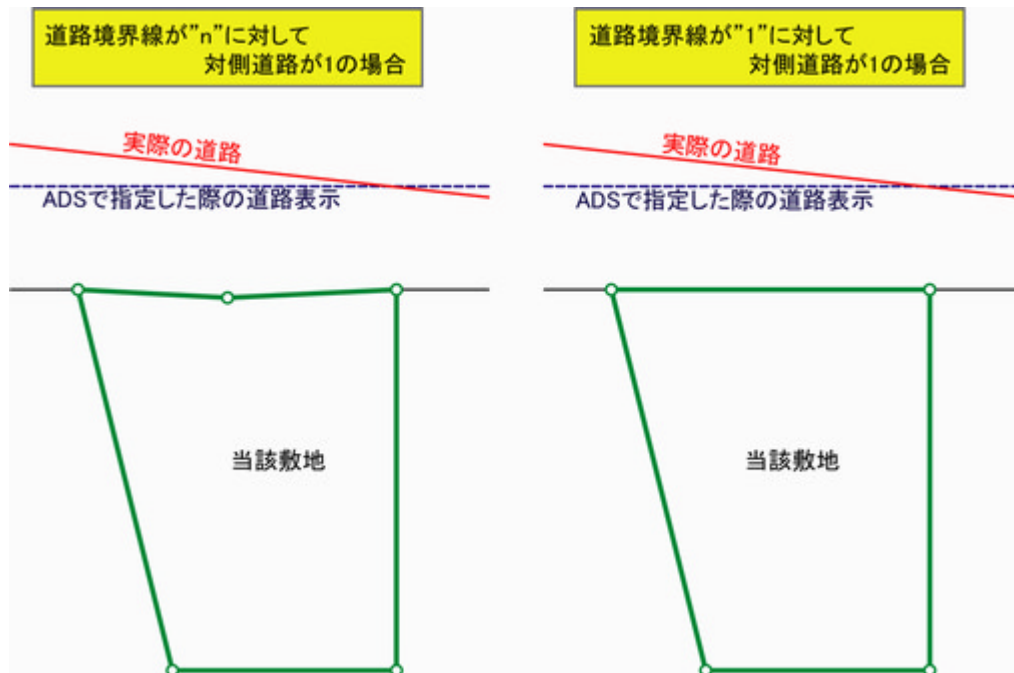
天空率用図形

異幅道路(1面)

メインメニューより(プルダウンメニューからも選択可能)

先ず、「天空率用図形 / 異幅道路(1面)」を選択し画面を切り替えます。

扱える接道パターン



08-04 2)異幅道路 (1面)の設定

操作手順

1. 「編集」を選択

編集

2. 「境界線No」を選択 (道路境界線)

例)

境界線No: 3-3

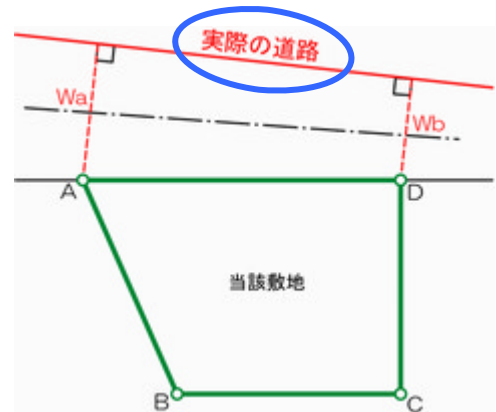
「平面図」ウィンドウ上で、ラインを確認

3. 「基準線指定」を選択



該当する道路境界線が一つの場合は、「道路境界線指定」は設定不要です

4. 「平面図」ウィンドウ上、実際の道路を選択
 予め補助線登録した線を選択



08-04 2)異幅道路 (1面)の設定

5. 該当項目を数値入力、処理内容を設定

端点処理設定については、次ページ参照願います

道路境界指定	複数の道路境界線を指定する際に選択
基準線指定	基準線 (道路反対側の線、道路斜線の基準となる線)を選択 補助線又は作図線のみ指定可能 基準線は、1本 (直線)のみ選択可能
建物後退距離	適合建築物の後退距離を設定 複数の道路境界線が指定されている場合は、数値指定した後退距離で適合建築物が一括生成されます 予め自動認識されている数値以外の場合は、ここで数値入力します
幅員 (始点) 幅員 (終点)	反対側道路境界から垂直に見た距離を入力 (前頁のWa、Wbを参照) 「基準線指定」を指定した場合は、自動的に数値が表示されます
最大ピッチ	測定ポイントの最大ピッチを指定 「最小幅員の1/2で計算」にチェックが付いている場合は、選択不可
最小幅員の 1/2で計算	測定ポイントのピッチを幅員 (始点又は終点)の狭い方の1/2で配置する場合にチェックします (デフォルトで、チェックされています)
前面計画建築物を考慮	建物後退距離より前面に計画建築物が存在する場合はチェックします

[適合]端点処理	適合建築物の端部の処理を実行
[測定点]端点処理	測定ポイントの端部の処理を実行

08-04 2)異幅道路 (1面) の設定

6. 「確定」を選択

確定

入力内容を破棄する場合は
「確定」選択前に「中止」を選択

領域リストで、「任意領域」として登録されているのが確認できます

道路斜線		隣地斜線		北側斜線		
No	境界	種別	基本	グループ	適合処理	測定点処理
1	3	自動	基本		境界線 - 境界線	適合 - 適合
2	3	任意	基本		延長 - 延長	適合 - 適合

端点処理設定方法 (例)

